

## ■英語の諺 1～100

1

Curiosity killed the cat.

日本語訳

好奇心は猫を殺した。

「好奇心はほどほどにした方がいい」という意味で使われます。

子どもを見るとわかるように、好奇心は成長のために必要な特性です。

しかし、「知りたがりすぎ」は危険だということです。

「killed」と過去形であることと「the cat」であることは注意しておきたい点です。

因みに、「Curiosity」は、2012年8月に、NASAが火星探査のために打ち上げた惑星探査機の名前として知られています。

因みに、形容詞の「curious」を使った「a curious child」は「好奇心旺盛な子」という意味になります。

2

I wish I were a bird.

日本語訳

私が鳥であることを願う。

「鳥であれば、飛べるので自由でいいな」という意味です。

どのような状況で使われるかというと、

「現在の自分が、狭い、自由の効かない生活をしている」と感じている状況です。

文法的には、実際には「鳥ではない」ので、「I were」と過去形になっていると説明されます。

因みに、「If I were a bird.」（鳥だったらなあ〜）とだけでも使われます。

### 3

Out of sight, out of mind.

日本語訳

視野の外、心の外。

「去る者日々に疎し」という定訳があります。

少し悲しいことですが、親しくしていた友人が引っ越したりして、日々見かけなくなってしまうと、忘れていくという現実があります。

ここでは「sight」は「視野・視覚」の意味ですが、「sight seeing」（観光）として使われる「景色」という意味で多く使われ、「視力」という意味でも使われます。

4

All roads lead to Rome.

日本語訳

すべての道はローマに通ず。

古代ローマ帝国は「千年王国」と言わ

れ、実際に千年以上、ヨーロッパから中央アジアに亘って君臨したわけですが、それだけ続いた要因として最大のものは、軍事的にも商業的にも機能した、街道の整備だった言われています。このことを前提として、途中経過が違ってても、最終的な目的が同じであることを表すことになりました。

5

Fact is stranger than fiction.

日本語訳

事実は小説よりも奇なり。

「私の秘密」というクイズ番組が、1959年（昭和34年）から、NHK総合テ

レビで放送されました。10 年以上は放送されたと思います。

黒いガウンを纏ったゲストが登場し、どの分野のプロなのかを、黒柳徹子さんや佐藤八郎さんたちが質問を通じて当てるというものでした。

司会であった高橋圭三さんの、番組の冒頭の台詞が、「事実は小説よりも奇なりと申しまして」でした。

日本語訳ではわかりませんが、英文をみると「Fact」と「fiction」が頭韻を踏んでいることがわかります。

6

Kill two birds with one stone.

日本語訳

二羽の鳥を一つの石で殺せ。

英文では命令形の文ですが、いわゆる「一石二鳥」ということです。

説明するまでもなく、「一つのことをして、二つの利益を得る」ことです。

この「一石二鳥」は四字熟語になっているので、中国に起原があると思ってしまうのですが、実は、ここで紹介した「Kill two birds with one stone.」という、イギリスで 17 世紀に誕生した諺のようです。

7

Never put off till tomorrow what you can do today.

日本語訳

今日できることを明日に延ばすな。

諺というより、教訓や行動規範と  
言うべきでしょうか。

行動を起こしてしまえばすぐに終わるのに、私たちは兎角先延ばしにしてしまうものです。

確かに、場合によっては、状況が変化して、行動しなかったことが正しいこともあります。多くは先延ばしにしていいことはありません。

「先延ばしする」という意味の動詞として「postpone」があり、「put off」とそのまま置き替えることができます。

Seeing is believing.

日本語訳

百聞は一見に如かず

私の記憶では、英語を学び始めて、最初に出会った諺がこの「Seeing is believing.」だったと思います。

「一石二鳥」のように、直訳的ではなく、印象に残りました。

「一と百」ではありませんが、英語の同じ意味の諺には「一と千」を用いた「A picture is worth a thousand words.」というものがあります。

因みに「worth」と「words」が韻を踏んでいます。

9

It' s always darkest before the dawn.

日本語訳

いつでも夜明け前が一番暗い。

「最悪な状況でも希望はある。」という  
意味で、仲間や自分を勇気づける場合  
に使われます。

しかし、「before」をどのくらい前と考  
えるかにもよりますが、夜明け直前  
には気温が最低になるでしょうが、急に  
夜が明けるのではなく、白じんでから  
夜が明けるのであり、この諺はレトリ  
ックが勝ちすぎていると思います。

10

It is no use crying over spilt milk.

日本語訳

零したミルクを嘆くことは役に立たない。

ご存じのように「覆水盆に返らず。」が定訳とされています。

「起こってしまったことは取り返しがつかない」と意訳されれば、対訳と言えますが、特に「覆水盆に返らず。」は中国の故事に基づいた表現であり、かなりニュアンスが違うものです。

この故事は、離婚後に出世した夫と復縁しようとした妻に、元夫が示したものが「覆水盆に返らず。」だったそうです。

11

The early bird catches the worm.

日本語訳

早くきた鳥は虫を捕まえる。

英文の方は、早く現場に来た者が利益を得るという意味です。

一方、定訳の「早起きは三文の得」は、中国の故事が日本で「三文」になったようです。

一説では、江戸時代、奈良の鹿が保護され、自宅前で鹿が死んでいたら「三文の罰金」が科されたので、朝早く起きて確認し、隣に移したりして「三文」得をしたことに由来するそうです。

12

Hear no evil, see no evil, speak no evil.

日本語訳

不吉なことを聞くな、見るな、話すな。

「見ざる、聞かざる、言わざる」が定訳になっています。

英文の方も、「See no evil, hear no evil, speak no evil.」と順序が一致している例もあります。

「evil」は「不吉なこと・悪事・悪弊」という意味であり、意識すれば、「危険が降りかかるようなことは知らんぷりをしろ」ということです。

13

Where there is a will, there is a way.

日本語訳

やる気があれば、道はある。

「意あれば、通ず。」が定訳です。

因みに、この日本語の定訳として「If you have a intention, you can pass.」もあります。

表題の英文の諺は、「will」と「way」が頭韻を踏んでいるところが諺と言える点です。

躊躇している人に対し、目的がしっかりしていて、強い意志があれば、なん

らかの方法があると、勇気づける際の  
諺です。

14

No pain, no gain.

日本語訳

痛みなくして得るものなし。

「苦は楽の種」と意訳されます。

大変短い表現ですが、内容は教訓的であり、韻を踏んでいて立派な諺になっています。

韻と言えば、概ね「頭韻」  
(alliteration) であることが多いのですが、ここでは「pain」と「gain」  
ですから「脚韻」(end rhyme) という

ことになります。

「No gain without pain.」という変化形もあります。

15

From hand to mouth will never make a worthy man.

日本語訳

その日暮らしは、価値ある人を作らない。

中国の「孟子」由来の日本の諺は「恒産無くして恒心無し」です。

こちらは、安定した収入がない状態では、平静で理性的な精神状態ではいられないという意味です。

英文の前段は、食べ物の貯えがなく、

手に入れた食べ物をすぐに食べてしま  
う状態です。

その結果、余裕のない卑しい人間なっ  
てしまうということです。

16

There is no accounting for tastes.

日本語訳

味覚は説明できない。

日本の諺「蓼（たで）食う虫も好き好  
き」に対応しています。

蓼は、平地から高原にかけて自生する  
草木であり、その実は大変苦く、食用  
になりません。

しかし、これを好んで食べる虫もいる

ので、この諺が生まれたようです。

「account」は名詞としては「口座・顧客」の意味ですが、動詞としては「説明する・責任を持つ」という意味になります。

17

Practice makes perfect.

日本語訳

練習が完全を作る。

「習うより慣れろ」が定訳です。あるいは。「継続は力なり」と意識されることがあります。

「学習」という言葉は正に「学びて習う」であり、「反復練習」が知識や技術

の習得には必要です。

同じ意味の上級者向けの諺に、

「Persistence pays off.」があります。

「persistence」は「粘り強さ」、「pay off」は「支払いに見合う」という意味になります。

18

Too many cooks spoil the broth.

日本語訳

コックが多すぎるとスープがだめになる。

日本の諺「船頭多くして船山に登る」に対応しています。

リーダーが決まっていて、指示命令の

仕組みが整っていないと、事業や行事はうまくいかないという意味で使われます。

「spoil」は「損ねる」という意味で、最近では「スポイルする」と、カタカナ英語として知られています。

西洋料理には、「broth」（スープ）が重要なようです。

19

Lend your money and lose your friend.

日本語訳

金を貸して友を失え。

金の貸し借りが、友人関係を壊すことは、古今東西頻繁に起こってきたこと

のようです。

一方、皮肉なことに、「He that has no money has no friends.」（金がなければ友はできない）という諺もあります。

金目当ての人間が本当の友人かは疑問ですが、「Money is power.」（金は力なり）も事実かも知れません。

20

When in Rome, do as the Romans do.

日本語訳

ローマにいる時は、ローマ人のするよう  
にしる。

「郷に入りては郷に従え」が日本語の  
定訳です。

確かに、「So many countries, so many customs.」（所変われば品変わる）ですが、英文と日本の諺とでは、状況が反対のようです。

ローマは永い期間ヨーロッパの中心でした。ですから、英文の諺は、田舎から都に出た場合を意味します。

そねに対し、日本の諺は、都人が田舎に来たら、そこの習わしに従えという意味になります。

21

One man's fault is another's lesson.

日本語訳

ある人の失敗は他の人の教訓である。

ぴったりではありませんが、日本の諺「人の振り見て我が振り直せ」に対応します。

「lesson」は「レッスン」というカタカナ英語で定着していますが、「学科・稽古」の他に、「教訓・戒め」と訳すべき場合もあり、この文がそれに当たります。

「Failure teaches success.」（失敗は成功のもと）のように自分の失敗から学ぶより、「One man's fault is another's lesson.」の方がいいですね。

22

He who knows most speaks least.

日本語訳

最も多くを知る人は、最も少なく話す。

ピッタリではありませんが、日本の諺  
「能ある鷹は爪を隠す」に対応します。

「speaks least」の理由は様々でしょうが、相手の知識レベルがわからない状況では、何から話せば良いか迷うことが多いと思います。

この諺から連想される諺として  
「Silence is gold, eloquence is silver.」(沈黙は金 雄弁は銀)があります。

A friend in need is a friend indeed.

日本語訳

必要な時の友が真の友である。

文語的な翻訳として「まさかの時の友こそ真の友」という表現がありますが、日本には対応する諺がないかも知れません。

「in need」と「indeed」が脚韻（end rhyme）を踏んでいて、諺らしい表現と言えます。

「indeed」は使いこなすのが難しい言葉ですが、「その通りですね」という相槌として便利です。

Speak of the devil and he shall appear.

日本語訳

悪魔の話をすると悪魔が現れる。

日本語で言うと「東海道中膝栗毛」に由来する「噂をすれば影がさす」に対応します。

英文とは、多少ニュアンスが違います。

「噂をすれば影がさす」の英語直訳のような諺として「If you make a rumor, it's a shadow.」があります。

日常生活で体験するこの現象は、サブリミナルに音や匂いで、あるいは第六感で、その人が近くにいることを感じているのかも知れません。

普通の会話では省略して、「Speak of

the devil.」 までで止めるのが一般的です。

25

History repeats itself.

日本語訳

歴史はそれ自体繰り返す。

「歴史は繰り返す」は古代ローマの歴史家、クルティウス・ルフスの言葉として知られ、諺になっています。

人の本質は変わらないので、何千年も時代が移っても、同じ愚かな行いをしてしまいます。

逆に言えば、過去にあったことの過程をたどり、再び起こることを予想でき

るということでもあります。

26

Time is money.

日本語訳

時は金なり。

字句通り、表層的に考えると、拝金主義的な価値観のように見えます。

しかし、「money」は「貴重なもの」を意味すると理解すると、少し違って見えてきます。

限られた時間しか生きられない私たち人間にとって、時を無駄に過ごすことは、命を無駄遣いしているようなものです。

27

Different strokes for different folks.

日本語訳

違う人には違う関わり方を。

この表現はアメリカの 1970 年代のヒット曲「Everyday People」に由来し、諺としては出来立てと言えます。

「stroke」はテニスの「一振り」や「打撃」などの意味が一般的ですが、人に対する「声掛け」などの意味もあります。

1974 年には、フォルクスワーゲンが「Different Volks for different

folks.」という話題の広告を作りました。

28

Even Homer sometimes nods.

日本語訳

ホメロスですえ時にはうっかりミスをする。

「オデッセイ」等の叙事詩で知られる、古代ギリシャの偉大な詩人ホメロス（英語で Homer）ですえも、うっかりミスをすることがあるので、普通の人で、失敗を気にすることはないという意味です。

日本の「弘法も筆の誤り」という諺に

対応しています。

「nod」は「頷く・居眠りする」という意味ですが、ここでは「うっかりミスをする」という意味になります。

29

Rome was not built in a day.

日本語訳

ローマは一日では造れなかった。

千年王国と呼ばれたローマ帝国は、政治制度や生活文化、芸術も含めて、ヨーロッパの主要な国のルーツと言っても過言ではありません。

しかし、モンゴル帝国のようにジンギスハンからフビライハンまでの3代で

造られた国ではなく、永い年月をかけて完成したと考えられています。大きな事業や実績は短期間ではできないという例えで使われます。

30

Time flies like an arrow.

日本語訳

時は矢のように飛ぶ。

日本の諺「光陰矢のごとし」に対応します。

洋の東西を問わず、銃や大砲などが登場する前の時代は、「矢」は「速いもの」の代表だったわけです。

「光陰」は文字通り「光と影」のこと

ですが、転じて「月日・歳月」の意味で使われます。

アインシュタインの相対性理論に通じるものがありますね。

「Time flies.」と後半が省略されることが少なくありません。

「Life is short and time is swift.」  
(人生は短く、時は速い) はより具体的な諺ですね。

31

A fool learns from experience; a  
wise man learns from history.

日本語訳

愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ。

19 世紀のドイツの名宰相ビスマルクの

言葉と言われ、作者がわかっている諺です。

中世から近代にかけて、ヨーロッパは、陸続きの各国が戦争や紛争などで常に緊張感のある状況でした。

戦争も外交も、ビスマルクから言わせると、歴史から学ぶことにより、正しい判断ができるのに、自分の浅薄な経験だけで判断する人が多いことを嘆いた言葉でした。

32

Good medicine tastes bitter to the mouth.

日本語訳

良い薬は口に苦い。

日本の諺「良薬口に苦し」は 2,500 年以上前の中国の文献に登場しています。つまり、この英語の諺は翻訳されたものと考えられます。

説明するまでもなく、実際の病気に服用する薬は苦いものであることよりも、比喩的に、「効果のあるものは多少副反応がある」という意味で使われます。

「Good medicine is bitter」まででも OK です。

33

Time and tide wait for no man.

日本語訳

時と流れは誰も待たない。

日本の諺「歳月人を待たず」に対応します。

実はこの日本の諺の起原は、4世紀から5世紀の中国の詩人陶淵明の漢詩の一節であり、文脈からは、人生は短いから躊躇してないで楽しみなさいという意味のようです。

英文の方は「tide」が「潮の流れ」であり、船出のタイミングのことを意味しているのであり、「好機を逃すな」という意味です。

34

Joy and sorrow are today and tomorrow.

日本語訳

喜びと悲しみは今日と明日である。

意訳すると「今日の喜び明日は悲しみ」ということでしょうか。解説として「A joyful evening may follow a sorrowful morning.」（悲しみの朝の後には喜びの夕べが訪れる）という表現もあります。

日本の諺「禍福はあざなえる縄のごとし」に対応しています、

「人生塞翁が馬」も近い意味の諺と言えますが、もう少し深い意味があります。

35

A rolling stone gathers no moss.

日本語訳

転がり続けている石にはコケが着かない。

日本の諺「転石苔を生ぜず」に対応します。

中国の古典が由来のように思われていますが、元々はギリシア語・ラテン語にまで遡れる諺であり、明治以降に、英語の諺がこのように翻訳されたようです。

基本的には「活動し続けているものは古くならない」というポジティブな意味で使われます。

Good wine needs no bush.

日本語訳

良いワインにはブッシュは要らない。

中世のイギリスでは、旅館が「ワインあります」のサインとして、玄関にブドウの蔦をかけていました。つまり、現代での「看板」の役割だったわけです。

しかし、すでに口コミで評判になっている旅館にはその必要がないことになります。

英国の歴史的な文化や風習を知らなければ、この諺の意味はわかりませんね。英国人やアメリカ人でも、若い人は知らないのではないのでしょうか。

37

Make hay while the sun shines.

日本語訳

日が出ているうちに干し草を作れ。

日本語の諺にピッタリ対応するものはないようです。

普遍的な教訓としては「好機を逃すな」、「限られたチャンスを十分に生かせ」ということですが、より限定して使うべきかも知れません。

つまり、「今、優先すべきことをしろ」という意味です。

「Make hay!」だけで使われることも多いようです。

38

A bad workman always blames his tools.

日本語訳

悪い職人は常に彼の道具を責める

日本の諺「弘法筆を選ばず」に対応します。

説明するまでもなく、「弘法」とは、1,200年前に真言宗を開いた弘法大師のであり、書の達人でした。

仕事の出来が悪くても、「道具のせいにするな」という意味で使われますが、多少弁護すると、道具の良し悪しも重要だと思えます。

39

Genius is 1 percent inspiration and 99 percent perspiration.

日本語訳

天才は1パーセントの直感と99の汗である。

電話機や白熱電球の発明家、トーマス・エジソンの名言です。

私は小学生の頃、伝記を読んで、学校に行かなかったこと、列車の中で実験をしていて火事にしてしまったことなど、今でも覚えています。

確か、この言葉は、人に「天才は努力が要らない」という趣旨のことを言われた際の言葉だったと思います。

「inspiration」と「perspiration」が韻を踏んでいるところが素晴らしいですね。

因みに、古い文献によると、「1と99」ではなく、「10と90」とされているものもあります。

40

There is no rose without a thorn.

日本語訳

とげのないバラはない。

日本では「綺麗なバラには棘がある」という言葉で、「美人は性格がきつい」という意味で使われますが、世界的には違うようです。

例えば商品などに対して「見映えが美しくても、見えない欠点があることが多い」という意味で使われます。

同じ意味で「 Every rose has its thorn. 」 と言われることもあります。

41

The optimist sees the doughnut, the pessimist sees the hole.

日本語訳

楽観主義者はドーナツを見て、悲観主義者は穴をる見る。

諺とも言えますが、これは 19 世紀のイギリスで活躍した、劇作家・小説家オスカー・ワイルドの名言の一つです。

日本にはピッタリの諺や名言が見当たりませんが、楽観主義と悲観主義の話題としてはウイスキーの話があります。ボトルに半分残っているウイスキーを、「半分も残っている」と考えることが楽観主義、「半分しか残っていない」と考えることが悲観主義とするものです。

42

After dinner rest a while, after supper walk a mile.

日本語訳

豪華な食事の後は暫く休み、軽い夕食の後は1マイル歩け。

「dinner」と「supper」は同じ「夕食」

と理解されていますが、「dinner」は、夕食とは限らずその日のメインな食事を意味します。

食後の運動は健康に良いとされ、推奨されていますが、イギリスの価値観では豪華な食事の後は休むことを指示しています。

「while」と「mile」が脚韻（end rhyme）を踏んでいるところが諺らしい表現です。

43

The proof of the pudding is in the eating.

日本語訳

プディングの証拠は食べることである。

日本の諺「論より証拠」に対応しています。

しかし、イギリスの歴史的な食文化を理解しないと十分理解できないようです。

「pudding（プディング）」とは「小麦粉とミルクで作ったディッシュ」のことです。

要は、誰でも知っているデザートを引き合いに出して、評判や見た目では物事の価値が判断できないことの例えに使われます

44

Haste makes waste.

日本語訳

急ぎは無駄を作る。

日本の諺「急（せ）いてはことを仕損じる」に対応します。

単語3つで単純な構造ですが、「haste」と「waste」は脚韻を踏んでいて、美しい諺と言えます。

「haste」は名詞で、動詞は「hasten」ですが、「t」は発音しないので、注意が必要です。

因みに「haste」を使った別の諺、

「Haste is from the devil」（急ぐのは悪魔由来）、「More haste, less speed.」（急がば回れ）があります。

Lean liberty is better than fat slavery.

日本語訳

痩せた自由は太った隷属よりましである。

日本の諺でピッタリなものは見当たりません。

要するに、物理的・経済的に恵まれていても「自由」がなければならないという考え方を意味しています。

「自由」という概念は欧米の歴史の中で育まれたもので、日本では希薄なのかも知れません。

因みに、アメリカの独立 100 年の記念として、フランスから送られたのが、

「自由の女神」(the Statue of Liberty)

です。

46

Absence makes the heart grow founder.

日本語訳

不在が心を深くする。

日本の諺にピッタリのものは見当たりません。

確か、1980年代の歌謡曲の歌詞に「会えない時間が愛育てるのさ」という一節がありました。

「Absence makes the heart grow founder.」が、恋仲にある男女が距離を隔てているという意味であれば、まさに歌詞の通りだと思います。

逆の意味の諺として「Out of sight out of mind.」（去る者日々に疎し）があります。

47

Actions speak louder than words.

日本語訳

行動は言葉より大きく話す。

「行為は言葉よりも雄弁である」が定訳と言えます。

コミュニケーションにおいては、言葉で命令や指示をするよりも、率先垂範で、自らやって見せることが効果があるということです。

相通じるものとして、山本五十六氏の

言葉として、「言ってみせて、やってみせ、誉めてやらねば、人は動かず」があります。

48

Attack is the best form of defense.

日本語訳

攻撃は最善の形の防御である。

日本の諺として「攻撃は最大の防御なり。」がありますが、これは別の諺「Offense is the best defense.」がピッタリです。

いずれにしても、先に攻撃して、相手の攻撃力を奪うことが、防御を必要としなくなるという意味では「最大の・

最善の」防御ということになります。  
近い意味の日本の常套句として「先手  
必勝」があります。

49

Adversity makes a man wise.

日本語訳

逆境は男を賢くする。

日本の諺としては「艱難汝を玉にす」  
が近いと思われます。

もっとも、「玉にす」はかなり抽象的で、  
どのような意味か定かではありません。  
また、状況としては、「苦勞をしている  
人を励ます」場合の言葉です。

なお、英語の諺には「Adversity makes

a man wise, not rich.」というバリエーションがあります。

50

After a storm comes a calm.

日本語訳

嵐の後には凧が来る。

日本の諺「雨降って地固まる」にかなり対応しています。

つまり、大変な出来事の後、かえって以前より良い状態になるという意味です。

しかし、もっと単純に、「嵐はいつかは治まり、晴天が戻るものである」という意味でも使われることがあります。

ほぼ同じ意味で「After rain comes fair weather」という表現もあります。

51

If you run after two hares, you will catch neither.

日本語訳

もしあなたが二匹の野兎を追いかけるならば、どちらも捕まえられないだろう。

日本の諺「二兎を追うものは一兎をも得ず」に対応します。と言うよりも、全く同じです。

実は、中国の故事成語や漢文を語源とする諺ではなく、標記の英語の諺の翻

訳だからです。

さらに遡ると、ローマの諺に由来する  
そうです。

兎狩りはヨーロッパの狩猟文化ですが、  
中国や日本にも兎はいるので、中国由  
来と思われてしまったのは仕方があり  
ません。

さらに、「Grasp all, lose all.」（すべ  
てを掴めばすべてを失う。）という諺も  
あります。

52

Men always want to be a woman's  
first love. Women like to be a man's  
last romance.

日本語訳

男は女の最初の恋人になりたいが、女は男の最後の恋人になりたい。

これは元は諺ではなく、19 世紀のイギリスの劇作家・小説家オスカー・ワイルドの名言の一つです。

男女の特性に関する複数の要素が絡み合って、このような表現になっています。

すべての要素はわかりませんが、「男は無邪気で、女は強か」あるいは、「男は夢見がちで、女は現実的」というような認識でしょうか。

「The optimist sees the doughnut, the pessimist sees the hole.」(楽観主義者はドーナツを見て、悲観主義者は穴を視る。) もオスカー・ワイルドの名言の一つです。

53

Don't count your chickens before they are hatched.

日本語訳

鶏の卵がヒナになるまで、鶏の数に入れるな。

日本の諺「捕らぬ狸の皮算用」に対応します。

英文の状況は、自分の財産としての鶏が何羽いるかと問われて、まだ孵化していない卵まで数に入れて答えたものです。

「捕らぬ狸の皮算用」の方は、昔、防寒着として価値の高い狸の皮の取引に

関するものです。

ほぼ同じ意味の諺として、「Catch the bear before you sell its skin.」や「First catch the hare.」があります。因みに、欧米では「狸」はあまり馴染みがないようですが、一応「raccoon dog」という言葉があるようです。

54

Misfortune makes strange bedfellows.

日本語訳

不幸は不思議な仲間を作る。

一緒に不幸な経験をした人とは、極めて親しい友人になること、また、傍から見ると、友人であることが不思議に

見えるということです。

因みに、「bedfellow」という言葉はあまりお目にかからない言葉ですが、「ベッドを共にするほど親しい仲間」という意味ですから、「親友」を超えていると言えます。

冒頭を「Adversity」（逆境）に代えた「Adversity makes strange bedfellow.」も使われます。

55

An idle brain is the devil's workshop.

日本語訳

稼働していない脳は悪魔の仕事場である。

日本の諺「小人（しょうじん）閑居して不善を為す」に対応しますが、格段に洒落ていますね。

この「小人閑居して不善を為す」は中国の四書五経の一つ「大学」の一節で、「君子は一人でいる時でも行いに気をつけているが」に続く部分のようです。より一般的な諺として「By doing nothing we learn to do ill.」（何もしないことによって、私たちは悪いことをすることを学ぶ。）があります。

同じ「devil」が登場して近い意味の諺「The devil finds work for idle hands to do.」（悪魔は怠けた手に仕事を見つける）があります。

また、「devil」が登場しませんが、同じ意味の「Idleness is the root of

all evil.」という諺もあります。

56

Harmony is to be valued.

日本語訳

調和することは価値がある。

日本語の諺「和を以て貴し(尊し)と為す」に対応しています。

ご存じのように、「和を以て貴し(尊し)と為す」は、聖徳太子が制定したとされる「十七条の憲法」の第1条です。

詳しく言えば、1,300年前の日本書紀に記載されています。

実は、これがオリジナルではなく、「論語」にある言葉を引用したようです。

57

Let bygones be bygones.

日本語訳

終わってしまったことは終わったこと  
にしておこう。

日本の諺とは言えませんが、この英文  
に対応する「済んだことは、済んだこ  
と」という常套句があります。

「bygones」は「go by」が変化した名  
詞で、私もこの諺でしか見たことがあ  
りません。

この諺が使われる状況は、以前の確執  
や対立によりデメリットを受けた側が、  
相手に対して「赦す」という意味で発  
言する場合です。

逆は無理があるでしょう。

58

Measure twice, cut once.

日本語訳

二回測って一回切れ。

少しニュアンスが違いますが、日本の諺としては、「石橋を叩いて渡る」でしょうか。

諺ではありませんが、「念には念を入れよ」という常套句が近いと思います。

服の仕立て、つまりテイラーの仕事での諺と思っていましたが、どうも、大工や家具職人の間での教訓のようです。

「double-check」のことであり、かな

り、普遍的な知恵と言えます。

59

A bolt out of the blue.

日本語訳

青天の霹靂(へきれき)。

「予期していなかった突然の出来事」の意味であり、英文も日本文もピッタリ一致しているようですが、成り立ちは別々のようです。

「青天の霹靂」は、13 世紀中国の故事成語で、病床にあった詩人が突然起き上がって詩作を始めたことに由来します。

英文の方は 18 世紀のフランス革命に関

する著作の一節のようです。  
後者はポジティブな出来事ではないようですが、現在ではどちらも一般的に「突然の出来事」として使われています。

60

It takes two to tango.

日本語訳

タンゴには二人必要である。

日本の常套句「喧嘩両成敗」の意味で使われるそうです。

つまり、ケンカをするものは、両者とも罰せられるという意味です。

歴史的な背景としては江戸時代の日本

では、藩同士が争えば、それを口実に幕府は両者お取つぶしにしたと言われて  
います。

「It takes two to tango.」は暗喩であり、  
そこまで重たくないようです。

61

After the feast comes the reckoning.

日本語訳

宴会の後には勘定書きが来る。

祭りの最中は気分が高揚していますが、  
すぐに後始末が必要になり、大変である  
ということです。

日本の常套句として「祭りの後」があ  
りますが、これは「祭りの後の淋しさ」

の意味で使われることが多いようです。

「feast」は「宴会・こちそう」の意味です。語源的には「festival（まつり）」と同じです。

「reckon」は「思う・計算する」が元の意味ですが、ここでは「支払う」という意味で使われています。

62

Throw a sprat to catch a whale.

日本語訳

クジラを捕まえるためにイワシを投げる。

日本の諺「海老で鯛を釣る」に対応しています。

経済面から言えば、事業を成功させるためには、先行投資、しかも費用対効果が良い投資が必要であるということでしょうか。

「whale」の代わりに「herring」（ニシン）でも良いようです。ヨーロッパでは、日本の「鯛」のように、「herring」が高級魚ということでしょうか。

63

Seek mickle, and get something; seek little and get nothing.

日本語訳

最大を求めよ、そしていくらかを得よ；少し求めよ、そして何も得ない。

「目標を高く設定しても、結果はたかが知れている。目標が小さければ、何も得られない」という意味になります。命令形の文を「and」で二つ繋ぐと、前の文が「If」文の意味になることがあります。

「mickle」は、古代スコットランドの言葉で、「大きな・沢山」という意味です。

「mickle」と「little」が韻を踏んでいます。

64

The age of miracle is past.

日本語訳

奇跡の時代は過ぎ去った。

日本の諺でピッタリのものは見当たりませんが、「柳の下にドジョウはいない。」が近いでしょうか。

例えば、弱小サッカーチームがトーナメントを勝ち抜くような、ありえない幸運な偶然が続いて、それが途切れた際の言葉がこの文かも知れません。

また、幸運だけで成果をあげてきた友人に、「地道な努力や工夫をした方がいい」という気持ちを込めた表現とも言えます。

65

All work and no play makes Jack a dull boy.

日本語訳

仕事（勉強）がすべてで遊びがなければ、ジャックは愚かな少年になる。

日本の諺としては、「良く学び良く遊べ」があります。

この英文の諺は、保護者に対しての助言ですが、子どもたちの遊びの正当性を主張している点は、子どもたちには都合のよい諺です。

「dull」は、「色や音などが鈍い」という意味ですが、人に対しては、「愚鈍な」という意味になります。

66

Friends are thieves of time.

日本語訳

友人は時間泥棒だ。

日本の諺にはピッタリなものは見当たりません。

友人に関する諺は、「A friend in need is a friend indeed.」を初め、沢山あり、概ね友人の大切さを語るものです。しかし、この諺が暗に示すように、友人からの誘いを断り切れなくて、貴重な時間を使ってしまうことは少なくありません。

67

The best preparation for good work tomorrow is to do good work today.

日本語訳

明日の良い仕事の最善の準備は今日良い仕事をする事だ。

日本の諺にはピッタリなものは見当たりません。

今日の仕事をいい加減にしているのは、翌日も同じことになり、いつまで経っても良い仕事はできないことになります。

この考えに通じる諺として、「Don't put off till tomorrow what you can do today.」（今日できることは明日に延ばすな）があります。

68

All cats are grey in the dark.

日本語訳

暗闇の中ではすべての猫が灰色に見える。

日本の諺にはピッタリなものは見当たりません。

ネコでなければいけない訳ではありませんが、何であって、よほどの個性があり、注目を浴びる状況でなければ、際立たず、「その他大勢」であるという意味です。

因みに、人類にとっては犬と同様に、猫は身近な存在であり、洋の東西を問わず、数多くの諺や常套句があります。

Chop your own wood、 and it will warm you twice.

## 日本語訳

あなたの木を割りなさい、そうすると、それはあなたを二度温めるでしょう。

これは、フォード・モーターズの創業者ヘンリー・フォード氏の名言が諺になったものです。

自分で汗を流して薪を作れば、その薪割りで体が温まり、その薪を燃やすことで、再び暖が取れるという意味です。つまり、口先ばかりではなく、実際に現場で行動することの大切さを、ユーモアのある表現にしている言葉と言えます。

70

Don't forget your original intention.

日本語訳

あなたの大元の意図を忘れるな。

日本の諺「初心忘るべからず」に対応しています。

「初心忘るべからず」は、能楽の大成者の世阿弥の言葉とされています。

芸道と初心の関係は、深いものがあると思いますが、ここでは、英文の

「your original intention」が「最初意図したこと・最初の目的」と、より論理的な表現になっています。

71

All good things must come to an end.

日本語訳

すべての良いことには終わりが来るものだ。

日本の諺ではありませんが、「良いことはいつまでも続かない」という常套句に近い言い方は耳にします。

人生を重ねて行くうちに、このような悲しい終わりを経験していきませんが、若い人はこのことを知らない場合があります。

このような時に、年長者が助言として与える言葉でしょうか。

因みに、「must」がなくても良いようです。

72

Cleanliness is next to godliness.

日本語訳

清潔は信仰深さに次ぐ。

欧米においては、国により多少の違いはあるでしょうが、基本的に信仰が日常生活に浸透しています。

そのような背景があり、「清潔」が「信仰深さ」に次ぐ「重要なこと」とされています。

「cleanliness」は見た目のきれいさと、その結果の衛生面でのきれいさの意味があります。

因みに、「godly」が「信心深い」という形容詞であり、「godliness」はその

名詞形です。

73

Death is the great leveler.

日本語訳

死は偉大な平等者である。

この世において、男女、体格、能力、貧富などの面で、多くの人々は格差がある状況で、私たちは生きています。

時には、自分が劣っている要素に関して、「不公平だ」と感じることも少なくないでしょう。

しかし、どんなに裕福でも、才能に恵まれていても、死はだれにでも訪れます。

そういう意味で、死は人に対しての平等な存在なのです。

最後の言葉を代えた「Death is the great equalizer.」も使われます。

74

All that glitters is not gold.

日本語訳

光っているすべてが金ではない。

日本の諺にピッタリのものは見当たりません。

出典はイギリスの文学作品であり、シェークスピアも「ベニスの商人の中で」引用している表現のようです。

要は、見た目が良くても、本物ではな

いものがあり、本質を見極めなければいけないということです。

「all」と「not」の組み合わせは、文法的には「部分否定」と呼ばれ、「金とそうでない物の両方がある」という意味になります。

75

Death pays all debts.

日本語訳

死はすべての負債を支払う。

別の諺「Death is the great leveler.」

（死は偉大な平等者である。）のように、私たちにとって、「death」は極めて重たいことです。

亡くなった当人が、人に金を貸していても、借金をしていても、当人にはどうすることもできません。

現在では相続放棄もありますので、債権者も諦めざるを得ないことになります。

76

Garbage in, garbage out.

日本語訳

ゴミを入れる、ゴミが出る。

この表現は、コンピュータ業界で使われ始めた、極めて現代的な諺と言えます。

コンピュータ処理においては、「input」

(入力)、「process」(処理)、「output」(出力)、そして「control」(制御)が構成要素です。

つまり、「元のデータ (input) が出鱈目であれば、どんなに素晴らしい計算処理 (process) をしても、結果 (output) は役に立たない」という意味で使われます。

頭文字をとって、「GIGO」という言葉もあります。

77

Genius is an infinite capacity for taking pains.

日本語訳

天才とは、苦痛を取り入れる無限の容

量のことである。

どの分野においても、偉業を成し遂げ、天才と呼ばれるためには、地道な作業の繰り返しと、試行錯誤の失敗にめげない忍耐力が必要になります。

より有名な表現として、エジソンの「Genius is 1 percent inspiration and 99 percent perspiration.」（天才とは1%の閃きと99%の汗である。）があります。

78

All truth is not always to be told.

日本語訳

すべての真実はいつも語られるべきと

は言えない。

日本の諺としては「嘘も方便」が近いでしょうか。

「Honesty is the best policy.」（正直は最良の策）という諺があるように、私利私欲のために嘘をついて人を騙すことは論外として、相手の気持ちを慮って、真実を伝えないということがあります。

「優しい嘘」というものがあると思います。

79

Desperate diseases must have desperate remedies.

## 日本語訳

絶望的な病気には、とんでもない治療をしなければならない。

日本の諺「毒を持って毒を制す」が近いのですが、厳密に言えば違います。標記の諺は、病原菌や疾患による重篤な病気のことであり、「毒を持って毒を制す」は中毒症状を別の毒で解毒する意味となります。

「desperate」はカタカナ英語として、「嫌気がさしている」という意味で使われますが、「破れかぶれの・死に物狂いの」という意味もあります。

80

He that hath a full purse never

wanted a friend.

日本語訳

満杯の財布を持つ人は友達に不足しなかった。

金持ちの周りには人が群がるものです。

「want」は「不足しているから欲する」というニュアンスなので、「不足はなかった」という意味になります。

「a full purse」は、金持ちの象徴ということですね。

因みに、「purse」を使った変わった諺

「You cannot make a silk purse out of a sow's ear.」（雌豚の耳で絹の財布は作れない。）があります。

81

Blue are the hills that are far away.

日本語訳

遠くにある丘は青い。

日本の諺「夜目遠目笠のうち」に対応しています。

離れたところからでは、アラが見えないので、美しく見えるという意味です。

「夜目遠目笠のうち」の場合は、距離だけでなく、暗い場合、一部隠れている場合も、美しいと誤ってしまふ条件であると言っています。

同じ意味の諺として「Distance lends enchantment to the view.」（距離は景色に魅力を貸し与える）があります。

82

The devil can cite Script for his purpose.

日本語訳

悪魔は彼の目的のためには聖典を引用することができる。

日本の諺にはピッタリなものは見当たりません。

詐欺師や偽善者は、だますために手段を選ばないもので、悪魔の対極にある「聖典」までも利用するという意味です。

シェークスピアの作品「ベニスの商人」にも登場しています。

「cite」は、「文献を引用する・法廷に召喚する」という意味の言葉です。

「script」は元々「書かれたもの」で、「原稿・脚本」という意味にもなります。

83

Give a dog a bad name and hang him.

日本語訳

犬に悪い評価を与え、吊るしてしまえ。

日本の諺にはピッタリのものは見当たりません。

仕返しや、時には気に入らないだけの相手を意図的に打ちのめす際に使われる表現です。

おそらくヨーロッパにおいて、犬は猟犬として飼われ始め、棒で殴って調教する対象だったようです。

そのため、虐待の致傷としてこのような諺になったと考えられます。

84

All's well that ends well.

日本語訳

良く終わればすべてが良い。

手段がどうであっても、途中経過で試行錯誤があったとしても、結果が良ければ喜ぼうということです。

日本の諺「終わり良ければすべて良し」は、この英文の諺の翻訳です。

そもそも「終わり良ければすべて良し」  
は、イギリスの劇作家  
ウィリアム・シェークスピアの戯曲の  
タイトルです。  
さらに、遡ると、その戯曲以前にイギ  
リスでは日常的に使われていた常套句  
だったと言われています。

85

Divide and conquer.

日本語訳

分けよ、そして征服せよ。

歴史的にみて、蒙古やローマ帝などは、  
広大な地域を支配した強国は、多かれ  
少なかれ、このような戦略を用いてい

ます。

因みに、紀元前 4 世紀の中国においては、「合従連衡（がっしょうれんこう）」と言われる「弱者連合」と「分割統治」の戦略がセットになった表現が誕生しています。

最近では、企業の問題解決の手法として「divide-and-conquer method」（分割統治法）が活用されています。

86

Give a thief enough rope and he will hang himself.

日本語訳

泥棒に十分なロープを与えよ、そうすれば、彼は自分を吊るすだろう。

日本の諺にはピッタリしたものは見当たりませんが、「事業自得」の悪人バージョンかも知れません。

これは、多少残酷な考え方が裏にあります。悪人に対して諭すこともせず、勝手にやらせておけば、いつか大きな罪を犯して処刑されてしまうだろうというものです。

ヨーロッパには、長いロープで山羊を自由にさせて、雑草を食べさせる文化があり、「長いロープ」は「自由にさせること」の意味になります。

87

Gluttony kills more than sword.

日本語訳

大食は剣よりも人を殺す。

現在では生活習慣病として、カロリーの取りすぎは問題とされています。

要は、科学的な知見としてではなく、経験則として、「大食」は戒められていたわけです。

古くからキリスト教では「the Seven Deadly Sins」（七つの大罪）があると言われ、その一つが「gluttony」（暴食）です。

因みに、他の6つは、「pride」（傲慢）、  
「greed」（強欲）、  
「envy」（嫉妬）、  
「wrath」（憤怒）、  
「lust」（色欲）、  
「sloth」（怠惰）  
です。

88

The devil is not so black as he is painted.

日本語訳

悪魔は描かれているほど黒くはない。

黒色は「悪」の象徴として、西洋の宗教画などでは、悪魔は黒く描かれています。

最近では、ネットで炎上などが頻発しますが、昔から悪い評判は尾ひれがついてしまうものでした。

この諺は、評判の悪い人を擁護する場合に使われるものと考えられます。

89

Any port in a storm.

日本語訳

嵐の時はどの港でも。

嵐に遭遇した船は、避難のために港を必要とします。かなりのリードタイムがある場合は、港を選択することもできますが、緊急時には、港であればどこでも良いということになります。

「Any old port in a storm.」と、「old」を加えたものも使われています。

要は、「急場しのぎ」ということであり、望ましい解決手段ではないということです。

90

Give the devil his due.

日本語訳

悪魔にも取り分は与えよ。

「due」は名詞としては「支払われるべきもの」という意味になります。

気に入らない相手であっても、そのことを理由に権利を認めないことは避けるべきです。つまり、ルールに従って公平に扱うことが必要です。

ジョークで言われたとしても、こう言われたら、ショックでしょうね。

91

Appearances are deceptive.

日本語訳

外見は人を誤らせる。

日本の常套句「人は見かけによらぬもの」に当たります。

見た目は立派でも、内容が伴わない場合、見た目はパツとしないのにば中身はすごい場合、両方があると思います。

「deceptive」の元の動詞は「deceive」であり、「cheat」が「意図的に騙す」という意味であるのに対し、「deceive」は「騙す」意図がなく、結果的にそうなる状況を意味します。

92

The devil's children have devil's

luck.

日本語訳

悪魔の子には悪運がある。

日本の諺にはピッタリなものは見当たりません。

実際に、洋の東西を問わず、妙に運が強い人はいるものです。そういう人に対してやっかみで言う表現がこの諺です。

英語の諺の中には、度々悪魔が登場します。それだけ、ヨーロッパの精神文化の中にはキリスト教の信仰が根付いているということですね。

Give us tools, and we will finish the job.

日本語訳

私たちに道具をくれ、そうすれば仕事を終わらせよう。

一般論でも話は通じますが、歴史的な背景を持った諺です。

1940年代、第二次世界大戦において、ドイツが優勢に戦いを進め、フランスは占領され、イギリスはロケット弾の攻撃に苦しんでいました。

中立政策を続けるアメリカに対して、イギリスのチャーチル首相が演説の中で使った一節が時代を経て諺になったものです。

蛇足ですが、日本の暴力団の社会でも、

拳銃などの武器を「道具」というよう  
ですね、

94

An apple keeps the doctor away.

日本語訳

一つのリンゴは医者をお遠ざける。

日本では「リンゴが赤くなれば、医者が青くなる」という常套句があります。リンゴは人類が最初に食べ始めたフルーツと言われ、アダムとイブの物語にも登場する特別な存在です。

ビートルズのレコードレーベルになり、スティーブ・ジョブスはその影響で会

社名にして、リンゴの品種の「マッキントッシュ」を商品名にしました。

「An apple a day keeps the doctor away.」も使われます。

95

Go abroad and you'll hear news of home.

日本語訳

外国に行きなさい、そうすれば、自分の家のニュースを聞くでしょう。

日本ではピッタリの諺は見当たりません。

「傍目八目」という言葉がありますが、近くで見ている第三者の意味であり、

海外まで離れていません。

自分の暮らしている社会にどっぷり浸かっていると、どのくらい優れているものなのか、逆にどれほどひどいものなのかがわかりません。

海外ほど離れたところであり、ニュースの価値があるものであれば、そのことは知る価値があるということです。

96

God's in his heaven; all's right with the world.

日本語訳

神は天にいて、世界のすべてのことが正しい状態である。

定訳として「神は天にあり、すべてこの世は事もなし。」があります。

キリスト教文化においては、創造主である神が、世界を創り上げた後に、下界を眺めて満足していたことを意味するようです。

この諺を自分で使う状況はあまり想像できませんが、上記の背景を知っておくことは意味があると思います。

97

Heaven helps those who help themselves.

日本語訳

天は自分たち自身を助ける者たちを助ける。

定訳としては「天は自ら助くる者を助く」があります。

現代風に言えば、「自助・共助・公助」の「自助」というこよになります。

洋の東西を問わず、人は「神頼み」という気持ちがあります。しかし、何も努力をしないで幸運を願う人には、神は助けの手を差し伸べないものです。

頻度は低いようですが、「Heaven」を「God」に代えた「God helps those who help themselves.」も使荒れます。

98

Art is long life is short.

日本語訳

アートは長く、人生は短い。

一般的には「芸術は長く、人生は短い」と認識されていますが、元々は「art」は「医療技術」のことだったようです。医学の祖とされる古代ギリシャのヒポクラテスが、弟子に諭した言葉「技術取得は長くかかり、人生は短いので、頑張らねばならない」が原点とされています。

しかし、現在では「芸術作品は長く残るが、作者の人生は短い」という意味で使われています。

99

God made the country, and man made

the town.

## 日本語訳

神は国を造り、人は町を造った。

定訳は「神、田園をつくり、人、町をつくる」ということであり、「country」は人間が作った「国」ではなく、「自然」ということです。

キリスト教における神は、6日間で世界を創り、1日を休んだとされています。

この諺は「神が創った田園は素晴らしい、私たち人間が造った町も捨てたものじゃない」という意味で使われます。

He that touches pitch shall be defiled.

日本語訳

タール（ピッチ）に触れた者は汚れてしまう。

日本の諺「朱に交われれば赤くなる」に対応します。

「悪い仲間と付き合っていると、悪人になる」という意味で使われます。

日本は「赤」で、イギリスは「黒」という対比が面白いですね。

「pitch」は、道路の舗装などに使われる石油タールの液状成分です。なかなか取れないですよ。

悪に染まると、なかなか戻れないということでしょう。

